



教会短信

2017年6月11日

No. 73

牧師 間瀬 善彦

気持ちの良い、さわやかな季節となりました。地域の皆様、お元気で過ごしてでしょうか。

教会の方が、三浦綾子著『千利休とその妻たち』という本を貸してくださいました。この本を読んで、茶道の大成者として後に名を残す千利休の生き方、考え方を知ると共に、時の権力者、豊臣秀吉との関係について知ることができました。

海外貿易で栄えた堺の商人として生まれた利休は、容易に西洋文化と触れ合う機会を持っていました。家族の中で、妻と娘が熱心なキリシタンとなり、キリスト教の教えについて学ぶこともできました。利休の茶道に、キリスト教の影響を指摘されることが多くあるのはこのことからでしょう。

海外貿易の利益からキリシタン布教に寛容であった秀吉が、1987年、突如キリシタン禁令を出しました。この頃、高山右近がキリシタン大名の代表格でした。右近は熱心に布教し、大名たちを始め、多くの者たちをキリシタンに入信させていました。秀吉は、すぐに右近に使者を派遣し、信仰を捨てよ、そうしなければ、領地も大名という身分も失うと脅しました。利休は、右近の茶道の師匠でしたので、間に入って執り成そうとしましたが、結局右近は信仰を捨てぬと宣言し、すべてを失ってしまいました。利休は、右近の潔い生き方に衝撃を受けます。この世の栄達や富よりも、右近は自分の信じている神を選んだのです。利休は茶道を究めようと日々精進していましたが、秀吉が求める茶道のあり方は、実は利休が受け入れることのできない道であったのです。権力者秀吉にそのことをはっきりと指摘することができず、妥協している自分の姿に納得がいきませんでした。

利休は秀吉に謀反の罪で裁かれる時、何の言い訳もしないのです。茶頭として長年秀吉に仕えた利休は、多くの人びとに人望がありました。もし命乞いをしたとしたら、ゆるされていたでしょう。しかし、利休はこのまま妥協して秀吉に仕える道を選ばなかったのです。信じる神に忠実に従う右近の生き方が素晴らしいと思っていたからです。

本当の生きがい

何年か前に、有志の人たち6、7人で読書会をしていました。初めにお祈りをして、讃美歌を1曲歌います。1人ひとりの本を読んでくるのはもちろんですが、レジメ（内容を簡単にまとめたもの）は当番の人が行います。後は、みんなで意見の交換をします。

わたしは読書会のおかげでたくさんの本を読むことができました。

神谷美恵子著『生きがいについて』は、今まで読んだ本の中でも、わたしの心に残る1冊となりました。神谷美恵子さんは、津田英学塾在学中に基督教の伝道者であった叔父に誘われて多摩全生園を訪れ、初めてハンセン氏病の存在を知りました。同じ世に生まれて、このような病に苦しまなくてはならない人がいるとは、いったいどういうことなのか、心の深い所で自分の存在が揺さぶられるような衝撃を受けました。後に、神谷美恵子さんは医者になってこの人たちのために働きたいと思われました。そして精神科医として働かれた方です。

生きがいとは、「わたしは花を育てるのが生きがいのよ」、「わたしは可愛い孫の成長が生きがいのよ」などと、いろいろな人の生きがいとするものを耳にしてきました。このように、人にとって生きていくうえで張り合いになる生きがいも大切なことであると思います。

神谷美恵子さんが言われる生きがいとは、

困難な状況の中から生きがいを見つけ出す、これが本当の生きがいであると書いてあります。たとえば、ハンセン氏病におかされ、治る見込みのない病気の方は、朝目が覚めると、わたしの病気がうそであってほしいと思われるそうです。このような困難な状況の中から生きがいを見つけて生きていくこと、これが本物の生きがいであると書いてあります。

幸せに暮らしている日々の中から見出していく生きがいもありますが、不幸のどん底の中や治らない病気にかかって絶望の中から見つける本当の生きがいについて学びました。わたしは、この本を読んだ後、本当の生きがいについて考えてみるようになりました。

K.M



喜ぶ者といっしょに喜び、 泣く者といっしょに泣きなさい。

(ローマ人への手紙)

身近な人に嬉しいことや悲しいことがあったとき、その気持ちを共有することは、人間関係の基本の一つではないでしょうか。家族や友人、同僚の喜びをねたまず、悲しいている人に安易な気休めを言わず、ただ相手の心のかたわらに立って、いっしょに笑い、泣く。そういう人からは、風にそよぐ大きな木のような安心感が漂います。あなたの身近にいる大切な人の心に、いっさいアドバイスせず、ただ寄り添ってあげませんか。

(いのちのことば社フォレストボックス)より



教会の礼拝堂です。どなたでもお気軽に礼拝にいらしてください。

聖書を学ぶ会

- 牧師から詳しく聖書を学びます。
- 讃美歌も歌い楽しい会です。

毎週火曜日 午後1時30分～2時30分

聖書研究・祈り会

- 静かな夕べに聖書を学びます。
- 共に祈り合います。

毎週水曜日 午後7時30分～8時30分

教会学校（幼児科）

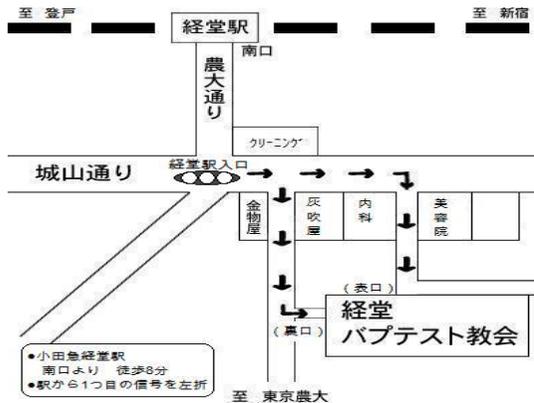
- かわいい讃美歌を歌って、聖書のやさしいお話を聞きます。お祈りもします。

毎週日曜日 午前10時～10時20分

教会学校（成人科）

- 礼拝の中で、牧師のお話を聞いて、感想や意見を述べ合います。わからないところは質問もできます。

毎週日曜日 礼拝後



経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1 - 64 - 30

03 - 3427 - 2352

当教会はプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一協会などとは異なります。